

Chiba Rosai News

千葉ろうさいニュース

Vol.33

2023年 秋号



糖尿病チーム

目次

2

連携のつどい
病院長 岡本 美孝

3

～ドクターカーとは～
より良い救急を目指して出勤中



4

～チーム活動として～
糖尿病チーム
糖尿病・内分泌内科 部長 石川 耕

5

増改築工事の進捗について

6

年度途中採用 ドクター紹介

7

連携登録医のご紹介
日高クリニック

8

当院の理念

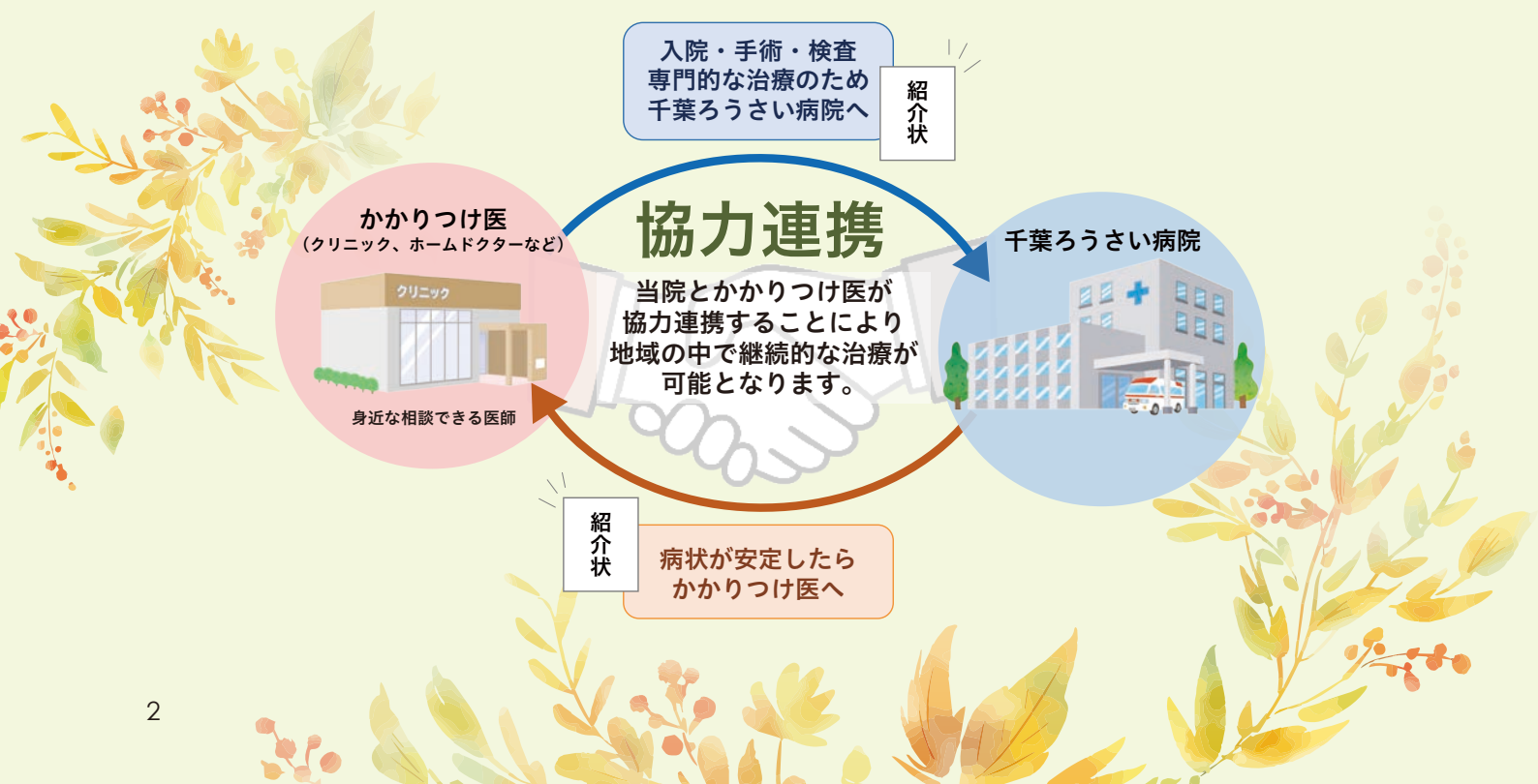


連携のつどい

病院長 岡本美孝

9月に千葉ろうさい病院主催で地域の診療所の先生方、介護や連携業務に携わっていらっしゃる方々にお集まりいただき第一回目の「連携のつどい」を開催しました。まず、私から当院の現在の運営概要をご説明し、その後各診療科からそれぞれの特徴などを御紹介しました。市原市や周囲の市町村では人口減少、高齢化が進んでいます。今後も、この地域の医療を維持・発展させていくためには地域の医療機関がこれまで以上に連携を強めていくことが大切です。ご参加いただいた方々から当院への御意見やご要望を伺うことができ、非常に有意義な会となりました。心から御礼を申し上げます。

今後も、地域で求められる良質な医療の提供ができますよう努力を続けてまいります。よろしくお願いいたします。



～ドクターカーとは～

より良い救急を目指して出動中

ドクターカーは5月8日より運行を開始し、おかげさまで9月6日現在、40件の出動を重ねてまいりました。その全てが重篤な事案で、一定の有効性が見出されています。今回はドクターカーのコンセプトやビジョンをご紹介します。

一般的にドクターカーの目的は、

01

医療介入・決定的治療までの
時間短縮

02

救急隊では不可能な高度な
医療の提供

03

治療方針決定の前倒し

の3つとされています。

ドクターカーは医療者を現場に運ぶことで一刻も早い救命処置開始を実現する、という意味でドクターヘリとやっていることは同じですが、騒音・粉塵が発生せず、離着陸場を必要としないという点で市街地では有利に働きます。搬送中の容体悪化を防いだり、より早い治療介入により生存率を向上できたなど、救急医をより早く患者に接触させる効果は非常に大きいです。当院周辺も比較的人口密集地であり、近隣住民の方々にとっては救命率の向上、後遺症の低減などの直接的利益がもたらされます。

また救急医療は現場から始まっています。消防救急隊は病院で行われる医療への理解を深めようと病院実習などで歩み寄ってくれています。我々医療者も現場で起こっていることに思いを巡らせ、歩み寄る姿勢が重要だと考えています。そうして消防・病院の相互理解が進むことで、より質の高い救急医療が実現されると信じています。

さらに副次的効果ですが、病院の外へ救急医が出て行くことで「The Right patients to the Right place.」に関与できることが挙げられます。救急隊と協力して緊急度判断、重症度判断を迅速に行い、病院前診断の精度も上がり、より適切な搬送先を医師の視点も交えて選定することができるようになりますので、社会問題解決の一助となる可能性もあります。

まだまだドクターカーには多様な可能性が秘められています。各所のニーズに耳を傾けながらより良い救急を目指して引き続き邁進していきます。どうかご理解ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



～チーム活動として～

糖尿病チーム

患者に寄り添った専門的ケアとサポート

糖尿病・内分泌内科 部長 石川 耕

千葉ろうさい病院は、糖尿病患者のための専門的なケアと支援を提供する糖尿病チームを誇りとしています。私たちは、透析予防指導やフットケアなど、糖尿病に関連するあらゆる側面に対応し、患者一人ひとりの健康と幸福を最優先に考えています。私たちの糖尿病チームがどのように患者や地域医療機関と協力して、糖尿病管理における新たな展望を切り拓いているかを紹介します。

千葉ろうさい病院の糖尿病チームは、専門医、看護師、管理栄養士、薬剤師、検査技師から構成され、それぞれの専門領域から患者に合わせた現状把握と計画を行い、協力して円滑に専門的ケアと支援を行っています。

また、近隣の医療施設スタッフと連携し、最新の医療サービスを提供します。

透析予防指導

糖尿病の合併症には人工透析を必要とする糖尿病腎症があります。透析は医療の進歩を代表する素晴らしい治療ではありますが、様々な日常の制約が多く、どうしても生活の質が落ちてしまいます。私たちのチームは腎症悪化を予防するため、積極的に取り組んでいます。個別の状況に基づいて、血糖値管理を最適化し、腎機能を維持するための食事や生活の計画を患者個人の状況に合わせて作成します。専門医と協力して、患者が透析を回避できる可能性を高めるための支援を提供しています。

フットケア

糖尿病患者にとって、足の健康は極めて重要です。足の感覚の低下や血液循環の悪化が、足の合併症を引き起こすことがあります。私たちは定期的な足の健康評価を通じて、早期に問題を検出し対処します。適切なフットケアの教育や個別のケアプランを通じて、患者が健康な足を保つ手助けをしています。

栄養指導

栄養バランスの取れた食事は、糖尿病管理の鍵です。管理栄養士は、患者の食事習慣と目標に合わせた個別の食事プランを提供します。血糖値のコントロールをサポートするために、栄養アドバイスや食事の計画策定を行い、患者が健康な食習慣を身につける手助けをしています。

薬物療法

糖尿病チームは、最新の医療知識と技術を駆使して、最適な薬物療法を提供します。定期的な健康モニタリングにより、治療の効果を確認し、必要に応じて調整します。また、インスリン自己注射を行っている方には、専門医の監督のもと、特定行為看護師による血糖値の評価、生活の計画提案及びインスリン投与量の調整を行います。

心理的サポート

糖尿病は心理的な負担をもたらすことがあります。糖尿病チームは、患者の心の健康をサポートし、適切な心理的対処法やストレス管理の方法を提供します。心の健康が糖尿病管理において不可欠であることを理解し、患者が心身ともに健康な状態を維持できるようサポートしています。

千葉ろうさい病院の糖尿病チームは、透析予防指導やフットケアなど、糖尿病管理のあらゆる側面に専門的に取り組むことで、糖尿病患者の健康と幸福を支えています。地域の診療所医師と連携し、健康な未来を築くために、私たちは情熱をもって取り組んでいます。皆さまのご相談をお待ちしております。



増改築工事の進捗について

今年2月より病院機能の向上及び患者さまの利便性向上を目的とした「千葉ろうさい病院増改築工事（Bグループ）」を実施しています。

9月には医事課受付窓口のリニューアルを行い、待合スペースの拡充等、患者さまの混雑緩和、利便性向上を図っています。現在は地域医療連携室、相談室等エリアの改修・増築工事を実施しており、今後は新しい病院の顔となるエントランス（玄関）エリアの新設（全体図右手前部分）、ホスピタルストリートの延長、問診・検査予約センター等対応ブースの拡充、感染症診察エリアの新設等を行い、来年2月末の完成を予定しています。

限られたスペースでの改修・増築工事となっており、相談室等が一時的に移転する等、患者さまにもご迷惑をお掛けしております。また、解体等に伴う騒音につきましては、今後も大きな騒音が発生するため土日や夜間作業にする等、極力診療に支障が出ないように配慮して進めてまいります。

今後も皆様にはご不便をお掛けしますが、病院リニューアルに向けて何卒ご理解いただきますようお願いいたします。



年度途中採用 ドクター紹介

歯科口腔外科



つねいずみ けんた
常泉 健太

趣味

映画鑑賞

患者さんへのメッセージ

皆様のお役に立てるよう頑張っております。
よろしくお願いします。

研修医(歯科)



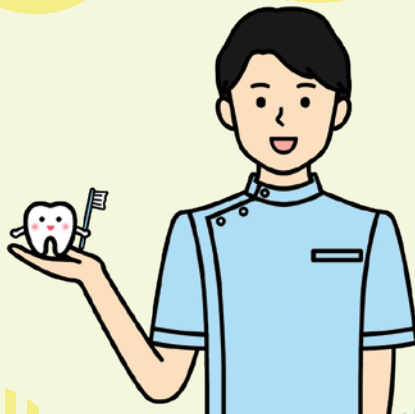
おおたに ようへい
大谷 洋平

趣味

ドライブ、ボウリング

患者さんへのメッセージ

皆様の生活が少しでもより良いものになるよう精一杯努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



日高 クリニック

みやもと のぶひろ
院長 **宮本 信浩** 先生



日高クリニック院長の宮本信浩と申します。当院は、平成13年に先代院長の日高紀子医師によって開院され、平成22年に継承いたしました。私は千葉大学病院総合診療科の生坂教授のもとで10年ほど総合診療・家庭医療を研修し、地域においてお子様からお年寄りの方まで、何でも相談できるホームドクターを目指し開業しました。令和2年にはコロナ禍の中クリニックを移転し、これまで地域の皆様に支えられて診療を続けてまいりました。

内科・呼吸器科・アレルギー科・リウマチ科・小児科を標榜しており、喘息や肺気腫などの呼吸器疾患の患者さんが多く来院されます。「咳がとまらない」「呼吸が苦しい」と来院される患者さんが、「楽になりました」と笑顔になったときが一番嬉しく思います。リウマチ科では週1専門外来を行っており、リウマチ科の医師が診療を行います。日常診療において千葉ろうさい病院の先生方、スタッフの皆様には大変お世話になり感謝いたします。この場を借りて御礼申し上げます。今後も地域医療に貢献できるよう誠心誠意努力いたします。

日高クリニック

診療案内

〒290-0062 千葉県市原市八幡594-8
ホームページ：<https://hidaka-cl.com/index.php>

電話番号 **0436-40-3366**

診療科目 内科・呼吸器科・アレルギー科・リウマチ科・小児科

	診療受付	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前	9:00~12:00	○	○	休	○	○	○	休
午後	3:00~6:00	○	○	休	○	○	休	休

千葉ろうさい病院 理念

基本理念

私たちは、地域の人々、勤労者の方々に高度で安全な医療を提供します。

基本方針

1. 患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療を提供します。
2. 急性期・予防医療を担う基幹病院として、地域の施設と連携を図り地域医療に貢献します。
3. 働く人々の健康を守り、社会復帰を支援します。
4. 豊かな人間性と高い技能を備えた医療人の育成を図ります。
5. 明るく向上心に満ちた職場をつくります。



新規導入された CANON 社製 CT 装置

編集 後記

地球沸騰化と言われるほど例年のない暑さの夏が過ぎ、昼夜問わず過ごしやすい季節となってきました。「秋」と聞くと、みなさんは何を思い浮かべますか。スポーツの秋、芸術の秋など、さまざまな秋があると思いますが、私は食欲の秋ですね。新物の秋刀魚や脂ののった戻り鰹が店頭に並ぶと秋を感じ、葡萄や梨といった果物類も豊富に出回ります。

物価高騰の波が押し寄せている昨今ですが、旬の食材に舌鼓を打ち季節の移り変わりを楽しみたいものです。健康維持のため、くれぐれも食べ過ぎ飲み過ぎには注意してくださいね。

中央放射線部では5月上旬より最新の320列CT装置が稼動し始めました。装置開口部は開放感のあるデザインが採用され、寝台マットは抗菌対応で感染に配慮し、ストレスのない快適な検査を提供しています。また、検査室内も清潔感のあるきれいな部屋へと一新されました。今後も患者さんが安心して検査を受けていただけるよう努めてまいります。 梶山 裕晃（中央放射線部）